

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	令和3年度 第1回安曇野市公民館運営審議会
2	日時	令和3年6月18日 午後1時30分から
3	会場	安曇野市役所 大会議室
4	出席者	羽重会長、田中副会長、安藤委員、狭間委員、西川委員、神谷委員、 望月委員、鈴木委員、関委員、高橋委員、佐々木委員、栗幅委員、 三好委員
5	市側出席者	平林教育部長、中央公民館深澤館長、豊科公民館鈴木館長、 穂高公民館中田館長、三郷公民館藤松館長、 堀金公民館山田館長、明科公民館安井館長、 中央公民館臼井主事、青沼主事、金井主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年6月25日

協議事項等

会議の概要

- 1 開 会 田中副会長
- 2 あいさつ 羽重会長、平林教育部長
- 3 協議事項
令和2年度公民館事業報告について
- 4 その他
中央公民館及び分館の位置づけについて
- 5 閉 会 田中副会長

協議事項

令和2年度公民館事業報告について（説明：各公民館長）

【委員】

2年連続で色々な行事が中止になっている。仲間づくりが困難になることに加え、携わる人の気持ち
が離れてしまい、どうでもいいと思ってしまう人がかなりいる。秋以降は、規模を縮小して実施するな
ど、知恵を出し合って新しい方法を考えていく必要がある。どうでもいいと思ってしまうと、後が大変
になる。それは防がないといけない。市民の意識を高めていってほしい。

【事務局】

公民館も行事をやりたいが、できない状況にある。堀金の例としては、内容の変更や時間短縮などし
て、行事を実施しようとした。しかし、地区公民館の役員の方から責任が持てるのかと言われてしまっ
た。運動会のような行事は、人数が足りなければ参加のお願いをする必要があるが、もしも感染してし
まった場合、責任が持てることと約束することができない。運動会のように人集めが必要な行事につい
ては、開催が難しい状況にある。それに対して、講座のような集まりについては、やりたい人が自ら進ん
で集まるため、コロナ禍でも感染防止に努め行うことができる。全公民館、コロナ禍でしかできないこ
とは何かあるか模索し続けている。

【委員】

このご時世、各公民館の館長さんは戸惑い、悩まれたと思うが、講座に多くの受講者を招くことがで
きていて、感心した。コロナ禍により、行事がいくつか中止になっているが、中止したことによる地域
の方からの文句やトラブルはあったか。また、来年以降、昨年はコロナで中止になったから今年も中止

でいいかとならないようにしてほしい。

【事務局】

中止したことによるトラブルはなかった。逆に行事を行う予定で考えていた際に、本当にやるのか？という不安の声が上がったことがあった。ほかにも、地区公民館から行事をやるのかやらないのか早く決めてほしいという声があった。行事の継続に関して、夏の球技大会を暑さとコロナで3年間実施できていない。その間に人事異動により公民館職員が替わってしまい、球技大会のノウハウを知る者が、館長一人になってしまった。今後行事がうまく繋がっていくのか心配がある。

【委員】

堀金公民館は継続して色々な講座を実施しているが、うまくいった秘訣などがあれば、教えてほしい。

【事務局】

料理教室では調理後の会食を無くし、タッパーに入れて持ち帰るようにした。基本、市のマニュアル通りに、換気をしっかりする、人との距離を十分とる、もし万が一のことを考えて講座に参加した人には名前や住所を書いてもらう、参加人数は、通常の50%までにする等、対策を十分にとった。ほかにも、手を使うスポーツは感染リスクが高いので足を使うスポーツにする等あらゆる対策を考えていったが、もし感染したらどうするのかというクレームは何件かあった。

その他

・公民館及び分館の位置づけについて（説明：中央公民館深澤館長）

【委員】

分館の名称はどうする予定か。また、地区公民館の名称はどうなるのかも教えていただきたい。現在の地区公民館は、以前は分館と呼んでいたため、混同してしまうので整理してほしい。

【事務局】

現在、豊科、穂高、三郷、堀金、明科公民館を分館、それらの公民館が連携・支援をしている公民館を地区公民館としている。以前は、現在の地区公民館を分館と呼んでいた。しかし、安曇野市公民館条例では、豊科、穂高、三郷、堀金、明科公民館は分館となっている。これらについては、分館の呼び方を地域公民館にする等して、今後整理をしていきたい。

・その他

【委員】

例年、小学校5、6年生が主体となって祭りで笛太鼓の演奏などをしてきた。しかし、今年も祭りが中止になると引き継ぐことができず、祭りを知っている小学生は中学生になってしまう。指導するにも大人たちは高齢なため、この機会に辞めようとしている人もいる。従来のお祭りが継続できるか、とても心配である。今後どうしていけばいいかアドバイスがあれば教えていただきたい。

【委員】

繋げていくのは大変である。何とか指導者だけでも引き継いで確保してほしい。例年と同じでなくていいので、規模を縮小するなど工夫をしていくとよい。

【事務局】

育成会や地域学校協働活動を活用するとよい。これらを活用することで、人と人との繋がりを作ることができる。